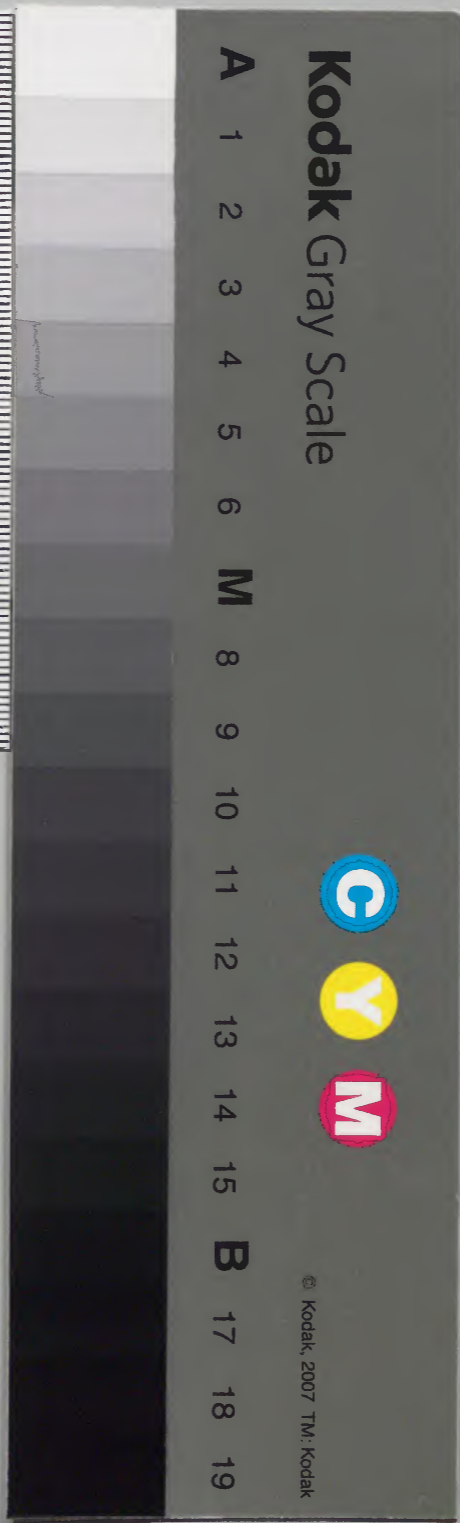


翁章

			二八五八	和書門
一〇一	八	九九	五八	
冊	架	函	號	類

庫	文	閣	內	
二二	一〇	一六	二八五八	和書
函	冊	架	號	類

內閣文庫	
番號	和 28558
冊數	101 (59)
函號	212 265



翁草卷九十八

將軍家御上洛記

明治十二年

寛永三丙寅九月六日將軍家ノ二条ノ亭一行幸有リ

翌七日ニハ舞ヲ敷南ヲリ八日ニハ武家ノ拜礼夜ニ

入テ御歌ヲ御會アリ其御座配ノ次才ハ煙細縁ノ錦ノ

御褥ヲ鋪テ天子ノ御座トス高麗縁ノ畳ヲ回ハリ

敷テ大臣家宮内跡公卿ノ席トス戌刻計ニ

天皇出御ニ玉ヲ御座ノ方ニハ左大臣源秀忠公御着坐

御右ノ方ニハ右大臣源家光公御着座左ノ次ニハ

近衛関白御右ノ次ニハ二条右大臣次ニ一品次ニ二品

親王次ニ無品親王次鷹司太尚次ニ二条内大臣右ノ

通大臣親王ノ坐トス御相ノ座ニハ鳥丸大納言着坐

次ニ左大將右大將次尾張大納言義直次紀伊大納言頼
宣次駿河大納言忠長次水戸中納言頼房次左ニ柳屋
宰相已上十八人列坐之玉ノ頭中将基吉朝臣燈臺ヲ
持テ講師ノ内座ノ左ノ上ニ置ク次ニ綾小路高右次ヲ
持テ燈臺ヲ上ニ置ク次硯ノ蓋ニ懷帝ヲ入テ高倉
中将嗣良朝臣ノ内坐ノ前ニ置次ニ内大臣席ヲ立
テ講師ノ内座ニ着冷泉中将為頼朝長溝師ノ内坐
ニ着冷泉ノ右方ニ四辻中納言次日野大納言次阿野
中納言次殿上人四人南方ノ簀子ニ候入内大臣講師
ナレハ是ヲ請文ヲ高ク歌ヲ讀次ニ四辻中納言高ク
發声ス三条日野阿野中院并簀子ノ殿上人歌ヲ付

テ訊ノ次水戸中納言次四辻中納言コノ歌ハ簀子ニ候
ス飛鳥井中将發声ス次駿河大納言次紀伊大納言次
尾張大納言次右大將次左大將次鳥丸大納言次日野大納
言次三條大納言次内大臣次前ノ内白次太閤次ニ無品
親王次ニ品親王次右大臣次將軍家次左大臣秀忠公
將軍家ノ御歌ハ且也續之終テ冷泉退也ス内大臣
奉ノ座ニ着入内白御製ノ講師ナレハ座ヲ立テ上ノ
内座ニ着入時ニ三条日野四辻阿野中院ホ上四人
少シ、サレ内白座ニ着テ鳥丸ヲ気色アリ鳥丸講師
ナレハ揖メ座ヲ立テ中ノ内座ニ着ク内白御前ニ膝
行寄テ御製取テ内座ニ着ク御詠ヲ扱キ見テ鳥
丸大納言ニ渡入高ク讀ム四辻發声ス七也訊テ其

内ニ鳥丸奉ノ座ニ着ク披講畢テ 天皇入御取ニ着
坐ノ公御座ヲ立辨メ亦奉ノ如ク着坐右テ次才ニ下
坐ヨリ退去畢右之着坐之次才

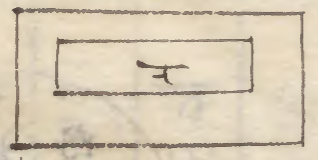
天皇御座ニ着ク披講畢テ 天皇入御取ニ着
坐ノ公御座ヲ立辨メ亦奉ノ如ク着坐右テ次才ニ下
坐ヨリ退去畢右之着坐之次才

衛 見 司 茶 二 鷹 伏 進
内大臣 太 二 関 左大臣
白 呂 閣 臣

九 鳥 丸 司 鷹 九 柳
相 宰 右 左 新
大 大 大 大 大
將 將 將 將 將
言 言 言 言 言

講師
冷泉

糸声
四辻 日野
三条 阿野



院

木

東

講師
内大臣

右大臣
左大臣
右大臣
左大臣
右大臣
左大臣

大納言
大納言
大納言
大納言

上

一条
八条
九条

尾長
紀伊
駿河
次

右之節 御詠歌

七日ノ御夜會也

詠竹契還年和歌

政仁皇帝

人皇百九代後水尾院

之詠也一ノ言トモトモニクニ是行ノリトモトモニクニ世々ノ詠也

繩日待 行幸二条茅同詠竹契還年和歌

左大臣源房忠
武將廿三代
台座虎

之此行乃万代まゝと詠ハあやふりあやぬ居乃り此等ハ

右大臣源家光
武將廿四代
大敵虎

行幸も此系大君うちとぬ言一千尋乃行ハ例と此思ふ

関白左大臣信尋
通侍

万代もこのぬ色なり国民の心は此の姿や一庭乃り此行

右大臣兼還
一条

か即り此の行代と詠ハハ子巻とて此ハ一ノ言ハ一ノ行

式部卿智仁親王
八条

幾多も此の言と詠ハ一ノ此行乃世々ノ詠也此等乃り此等

権大納言宣季 今出川

壽永の御代に今もあはけ程世に御事なすの御事

左近衛大将教乎 唐平

末を御代にありぬに御事なりぬに御事なりぬに御事

右近衛大将忠家 九条

御代に御事なりぬに御事なりぬに御事なりぬに御事

権大納言源美直 尾張

御代に御事なりぬに御事なりぬに御事なりぬに御事

権大納言源頼宣 紀伊

御代に御事なりぬに御事なりぬに御事なりぬに御事

権大納言源忠長

御代に御事なりぬに御事なりぬに御事なりぬに御事

権中納言藤季純 猪熊 茅 嗣 良 兄 四 辻

御代に御事なりぬに御事なりぬに御事なりぬに御事

権中納言藤宜衡 中 侍 内

御代に御事なりぬに御事なりぬに御事なりぬに御事

権中納言藤実所 乃 野

御代に御事なりぬに御事なりぬに御事なりぬに御事

権中納言藤共房 信 岡 子

御代に御事なりぬに御事なりぬに御事なりぬに御事

権中納言藤元度 日 野

御代に御事なりぬに御事なりぬに御事なりぬに御事

中宮権大夫源通妙 中 院

御代に御事なりぬに御事なりぬに御事なりぬに御事

權中納言原頼房 水戸

幾多代をわたり傳へて行かぬ所なりけりぬるを以て傳へたる

參傳原雅朝 白川

おしつゝ不君と臣との其行より乃ち秋と志くそん

參傳右大臣藤幸光 柳屋

業豐のち於て所地をわけしより以て乃ち行かざる

參傳右近衛權中將藤魚定好 花屋

之世にわたりて世々を傳へたる所なりけりぬるを以て

參傳藤光貴 烏丸

石傳のち其をわたりて乃ち乃ち代を傳へたる所なりけりぬるを以て

參傳左近衛權中將藤魚實晴 西園寺

多代にわたりて其をわたりて乃ち乃ち代を傳へたる所なりけりぬるを以て

正三位藤氏成 水戸

之にわたりて行かざる所なりけりぬるを以て乃ち秋と志くそん

右近衛權中將藤氏成 西園寺

幾多代をわたりて乃ち乃ち行かざる所なりけりぬるを以て乃ち秋と志くそん

中宮亮藤氏成 水戸

其行より乃ち乃ち傳へたる所なりけりぬるを以て乃ち秋と志くそん

左近衛權中將藤雅流 飛鳥井

之をわたりて乃ち乃ち傳へたる所なりけりぬるを以て乃ち秋と志くそん

左近衛權中將藤季吉 沼野井

之のち其をわたりて乃ち乃ち傳へたる所なりけりぬるを以て乃ち秋と志くそん

右近衛權中將藤氏成 水戸

之にわたりて乃ち乃ち傳へたる所なりけりぬるを以て乃ち秋と志くそん

石道衛権少将為良公系 好小

第代より由之方里所の繁盛は、あふく君の如く

侍将為良基定 好小

ちよる行儀の世共々々行の事ありあふく君の如く

侍将為良忠定 好小

君の如くは後之はく此所の世より出たるやちよる君

侍将為良公業 好小

君の代は行の事ありあふく君の如くは千の如く

神祇伯雅陣王 白川

く此所の事ありあふく君の如くは千の如くは千の如く

侍将為良基定 好小

あふく君の如くは千の如くは千の如くは千の如く

覺陣 仁和寺

あふく君の如くは千の如くは千の如くは千の如く

沙門良忠 曼珠院 後陽如院

あふく君の如くは千の如くは千の如くは千の如く

尊性 大覚寺 日野御殿

あふく君の如くは千の如くは千の如くは千の如く

覺然 妙法院 長持御殿

あふく君の如くは千の如くは千の如くは千の如く

尊光 一主院 十王御殿

あふく君の如くは千の如くは千の如くは千の如く

良純 智恩院 八雲庭田御殿

あふく君の如くは千の如くは千の如くは千の如く

寛永三十四年九月八日

行幸二条茅和致會

題者 雅胤朝臣 飛鳥井少将

讀師 内大臣 二条京極

講師 為頼朝臣 冷泉中納言

所製讀師 内白 近衛信尋

講師 日野中納言

御進出物品

一砂金 三千兩

一銀子 三子枚

一御衣 三百領 梨皮袴袴等も其
入以う禱

一紅糸 二百斤

一御手奪 區凡等金ノ杖付ク

一沉櫓 七寸ニ間中ノ白リ
四尺口アリ

一蘭緒 百卷

一瑠璃 三十枚

一麝香 白銀ノ大串
五ツニ入 五斤

一御掛物 中々ノ観方
左右電布 三幅對 牧後等

一御裝束 御唐櫃ニツニ入

一御太刀 一文ノ行平ニ 二振 全ラニノ袋ニ入

一御馬 十疋 每皆具う其
袋ニ入

一御寢道具不殘色々

一花瓶 一 大白银ナリ

一獅子御香炉 一 金ニ

一孔雀御香炉 一 口

一御香炉銀盤 三十枚

一御硯 四之内 二ハ古レ

一雀蟬燭立 一 金ニ

一御臺子 二 錦 内一ツ白漆
ケホリアリ

一御茶碗 二

一御束

一御爪炉 釜蓋

一御衣拵 二之内 一ハ銀

一鏡子御懸立御一人前

一御数七十ノ内 カナイロ 御湯次
白銀也其外ハ皆金ニ

一白銀御膳立四人前

物数等右ノ内

已上

右ノ通 將軍家々光公ヨリ所進獻ニ

一御太刀 一 腰 金作

梨地ノ薄紙 金カナイノ箱ニ入

一御手本 金ノ打枝自前

一朗詠 一 款 行成等

一子昂之コシメイノ四

一万葉集 廿冊 定家等

梨地ノ薄紙ノ箱ニ入

一御伽羅 十斤 銀ノ箱ニ入

一 御進上 長二尺巾一尺六寸 子サ一尺五寸

一 麝香 五斤 白銀ノ束五ツニ入

一 蜜 六十斤 大壺ニツニ入 紅ノ綱カハル

一 御衣 百領

一 梨地ノ袴 金カクイノ長袴ニ入ル

一 紬倫子 百卷

一 金子 二千兩

一 長持棹トモ 梨地ノ袴 唐絨ノ袖穿カル

一 御馬 五疋

一 已上

一 右ノ奥左大臣 秀忠公ヨリ御進上也

一 白銀 御進上

一 御衣 卅領

一 是長持ニ棹トモヲ付テ 唐絨 油草カハル

一 砂金 三百金

一 已上

一 右ノ廻 御臺杯ヨリ御進上也

一 白く縁 五疋

一 御水 卅支

一 梨地ノ袴 金カクイノ長袴ニ入ル

一 紬倫子 百卷

一 御衣 卅領

一 砂金 三百金

一 已上

口上

右の道 女流所より將軍宗光より中多行所より
行りし様より右の道にて

一 御少井

三十石

此の道より女流所全の所より此の道より乃ち宗光より

長持ニさし入

一 白く縁

三十石

口上

右の道 女流所より將軍宗光より此の道にて

一 行少油

右の道より此の道より 三十石

一 白く縁

二十石

口上

右の道 女流所より將軍宗光より此の道にて

一 行少井

三十石

一 白く縁

三十石

一 志中

三十石

一 志中

百石

一 志中

五十石

口上

右の道 中多行所より大行少油所より此の道にて

一 右の道 中多行所より

女流所より大行少油所より此の道にて

一 行少油

三十石

一 白く縁

三十石

一 所行やぼりなり矣

一 所以来りなり矣

右 中より

右 中より 廿一字 大所より進

一 右より 行進矣

右 二より 大所より進

一 所少油 右より

三十枚

一 砂金

三十枚

右 禁裏、右所是極より所進上

一 所少油

二十枚

一 所少金

廿五枚

右 中より 所より極より進

右 中より 所より極より進

一 右より 同様なり

右 院行所 廿一字 廿二字 此所より 右所より極

右 所より上

五枚家衆

一 白銀

三百枚

一 小油

二十枚

右 追所

一 白銀

二百枚

一 小油

二十枚

右 追所 九條殿 二条殿 一条殿 御用事

清花袋

一白銀

百枚

一小油

廿銀

有宛

久我殿

西園寺殿

花山院殿

陸奥殿

大炊内殿

菅原殿

輕部殿

已上七清花、廿銀

親王家

一白銀

二百枚

一小油

廿銀

有返宛

伏見殿

八条殿

于杉殿

已上

有外越、多、高、上、持、子、所、島、達、清、花、一、所、島、達

一式、白、銀、二、百、枚、小、油、十、式、占、銀、十、枚、小、油、十、又、八

五十枚、小油十宛、已上、廿、銀、廿、銀

御内膳方

一白銀

百枚、小油廿枚宛

仁和殿

勝元院殿

也了院殿

概并殿

行内殿

大覚寺殿

妙法庵殿

一平院殿

知恩院殿

陸奥院殿

三宮院殿

有、行内主、甲乙、丙、丁

一白銀

五十枚、小油十宛

勅許殿

田河院殿

室町院殿

小寺

一白銀

十枚、小油五、日二十枚、日五、氣、廿枚

小油十、又、小油十、廿枚

有、返、中、所、兼、官、一、任、或、少、所、或、信、所、少、油、言

御内膳方

于外、各、所、取、返、乃、公、家、中、三、十、人、之、也

一白拍二万拍、少油十拍宛

鷹司右大臣殿 九条大納言殿 兵衛

一白拍十拍、少油二宛 楽人三輩、下

一白十拍宛 楽人廿二人、下

一白子五十拍、少油十車宛

上落、大まけ、

一右拍宛、大拍、

一白子保世拍、少油六宛 中拍、

一白拍、車打、

一白拍、拍、

一白子保世拍、少油二宛、

一白拍、車、

一白子保世拍、少油二宛、

一白子保世拍、少油十車、

おはせ、

おはせ、

一白子保世拍、少油二宛、

おはせ、

一白子保世拍、少油二宛、

おはせ、

一白子保世拍、少油二宛、

おはせ、

一白子保世拍、少油二宛、

一白子保世拍、少油二宛、

一 十袖十宛車

檜太山

新太山

一 十袖十宛車

檜太山

新太山

一 十浪五十枚

小袖六宛

或

一 十浪五十枚

一 五浪五十枚

小袖六宛車

中

左京

一 十浪五十枚

小袖六宛

大

一 十浪五十枚

車

出

一 小袖白車

肥後

一 十浪五十枚

小

能

信

一 十浪五十枚

日向

住

出

う

一 十浪五十枚

下

一 浪子五枚

惣

女

一 口五枚

中

一 口五枚

あ

一 口五枚

お

一 口五枚

口

年

一 口五枚

あ

石

う

一 口五枚

越

ち

あ

一 口五枚

中

一 口五枚

元

女

一 口五枚

女

あ

年

一 口五枚

小

十

浪

一 口五枚

あ

う

あ

上

陵王 一人 八 未 帝 元

納蘇利 二人 八 未 元

千秋樂 是ハ身中ノ

安山王

一八日 御馬

一九日 御能

山科ノ彩夜

と云ふ事... 行幸... 後代... 御能... 山科ノ彩夜... 是ハ身中ノ... 安山王... 一八日 御馬... 一九日 御能... 山科ノ彩夜

君ノ代ノ... 彩夜... 大 彦五郎 留 又五郎

雑波

彩夜

大 彦五郎 留 又五郎

田村

春夜

大 彦五郎 留 又五郎

源氏供養

権方

大 又五郎 留 又五郎

紅葉狩

春夜

大 彦五郎 留 又五郎

道成寺

彩夜

大 彦五郎 留 又五郎

十七日
三輪

春後

大 沼方

笛 七音

藤永

新後

小 七音

大 七音

藤永

新後

大 七音

笛 又三音

熊坂

春後

大 七音

笛 七音

狸

新後

大 又三音

笛 亦三音

已上

居飼

供奉之諸太夫 二行 野馬

御厨舎人

木村孫八郎

栗嶋孫六郎

松平和泉守

少将右近大夫

松平周防守

本号下总守

松平河内守

杉原伯春守

直田河内守

白山長内守

里田双守

岡野美作守

金森山雪守

前田大和守

松平山城守

松平飛騨守

本号伊予守

牧野駿河守

松平堂后守

藤堂大学頭

有馬兵卫少輔

浅野采女正

水野真人正

户田 九门

京極修理亮

寺沢兵庫頭

友堂左卫门守

井上河内守

土屋民部輔

京極主膳正

土丹后守

桑山加賀守

坂田兵部輔

井上淡路守

秋月左内守

石川伊豆守

横山左卫门守

行中采女正

本号能登守

阿部修理亮

高刀左京大夫

松平伊賀守

松平大隅守

佐久周淡路守

古田兵部少輔

相良壹岐守

関兵部少輔

细川玄蕃頭

田中筑后守

日根野式部少輔

那須美作守
上方格取守
仙石大和守
川越信房守
杉本兵少輔
坂田因幡守
右馬藏人
小坂遠江守
戸川佐渡守
池田中雪守
松倉右門守
素山右門守

内藤豊前守
三浦 監物
水野江守
佐久間江守
三好越後守
加々代民少輔
右馬長周守
島田越前守
遠藤但馬守
溝口中雪守
立花主膳守
本多飛騨守

一柳美作守
一行中丹後守
長谷川武敏少輔
市橋伊豆守
德永下總守
素嶋越後守
加藤式部少輔
片桐心雲守
松 元三信
山崎甲斐守
本号播磨守
平藤遠下守

織田越後守
一柳 監物
松木石見守
松浦肥前守
池田佐中守
德永九馬助
木下右了大夫
毛利伊勢守
谷 中羽守
遠藤伊勢守
片桐主膳守
小出將馬守

片桐石見守
青木甲斐守
佐久間主膳元
加藤忠羽守
稻葉隆路守
小出大和守
伊藤修理元
太田左衛門守
瀧田美作守
溝口伯耆守
秋田内侍守
藏田丹後守

木下宮内少輔
島津右馬頭
方郊左京亮
稻葉民部少輔
栗山修理太夫
松倉豊後守
伊藤若狭守
蔭田左衛門元
中川内膳元
松平對馬守
加藤式部少輔
本田甲斐守

里田市見守
三宅大膳元
坂丹後守
坂兵部大輔
石川主殿元
戸田采女守
松平左京大夫
水野紀伊守
成瀬伊豆守
坂市見守
松平越中守

岡部内膳元
菅沼織部元
南於大城守
鍋島紀伊守
松平加賀守
松平若狭守
水野和泉守
九鬼長門守
本多將監
田中主殿守
三浦志戸守

酒舟雅樂頭

番頭

日人

番頭

日人

伊勢治尾門

長谷川維殿

内藤傳九門

川口長三郎

毛利九郎九門

跡部 民部

助升治市尾門

永見新石門

那古屋外記

溝口三九郎

多賀 石近

大久保源三郎

北条久忠門

能勝治門

内藤主馬

直田長兵衛

花房勘三郎

能兼勘十郎

加藤勘右門

安藤治右門

西尾主水

新庄甚助

林 丹後守

村上 源助

只 日人

枕 藤助右門
徳山五左衛門
松平甚五郎

来山内通
加藤平内
一色五左衛門

水主
山平
徳山
松平
藤助
加藤
一色

山平
徳山
松平
藤助
加藤
一色

丹上侍備左衛門

番長御隨身

秋山十右衛門

御長刀

別牛飼

牛

別牛飼

牛

御車副

權御隨身

御車

御車副

權御隨身

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

御楷持 烏帽子着

烏帽子着

御牛飼 御糶持 烏帽子着

下臈御隨身三人

御傘

下臈御隨身三人

居飼一人

御廐舍人

副舍人

御馬副四人
治右井留

御馬

西川權十郎

副舍人

御馬副四人

御馬副四人

長刀

尾張大納言

布衣三人

布衣三人

馬副一人

副舍人

白丁五人

唐餉

馬副一人

副舍人

白丁五人

成瀬隼人心

成瀬隼人心

牽持同着

紀伊大納言

安藤帶刀

同上

水野淡路守

甘土氏守

駿河大納言

浅倉筑後守

同上

水戸中納言

中山備前守

村瀬左馬介

白丁二人

傘持 同上

加賀中納言

同上 薩摩中納言

白丁二人

長刀

仙臺中綴言

布衣三尺

馬副二人

布衣三尺

馬副二人

同上

越前守相

備前宰相 會津宰相

長刀 布衣四人 美作中將

長刀 布衣四人 秋田中將

馬副四人

白丁四人
傘持

同上

馬副四人

白丁四人
傘持

同上

豊前少将 仙臺少将 因幡少将

長門少将 若狭少将 毛利甲斐少将

森 右近大夫
白杵侍從 山崎侍從

井伊少將 柳川侍從
大野侍從

阿波侍從 伊達侍從
秋田侍從

中務侍從 丹波侍從
藏田侍從

此中略了尋

安藝侍送 肥後侍送 肥前侍送

對馬侍送 出雲侍送 松山侍送

群山侍送 長刀 烏帽子着四人 松平土佐守 馬副四人白丁二人

長刀 松平大和守 烏帽子着四人 松平右近大夫 馬副四人白丁三人

有馬玄蕃頭

南部信濃守

水野日向守

松平丹後守

生駒壹岐守

寺波志摩守

松平隱岐守

松平刑部大輔

一九月十九日 勅使阿野中納言首領中將ヲ以
大御所左大臣秀忠公太政大臣ニ補任了旨
獻慮ノ処ニ御辞退了遊下云々

一御一門諸大名 官位昇進之次第

一尾張大納言義直卿 元中納言

一紀伊大納言頼宣卿 口

一駿河大納言忠長卿 口

一水戸中納言頼房卿 元少宰相

一加賀中納言利常卿

一仙臺中納言政宗卿

一薩摩中納言家政卿

一越前宰相 忠昌卿 元侍從

松平宮内太輔忠雄卿 元侍從任宰相

松平下野守忠卿 任中將元侍從

森 美作守忠政 任少將元侍從

松平長門守秀就 口

細川越中守忠利 口

京極若狹守忠高 口

上杉彈正大弼定勝 口

松平新太郎光政 口

并伊掃於頭直高 口

伊達遠江守宗 口

侍從ニ任セラル、諸將

仙臺侍從 是松平陸奥守忠宗之

仙臺侍從

淺野但馬守

加藤肥後守

京極丹後守

錫嶋信濃守

松平右衛門佐

本多義濃守

堀尾山城守

加藤左馬助

松平中務守

松平石見守

松平中務大輔

本多義濃守

松平内侍守

本多義濃守

四品三任

本多義濃守

生駒小法師

南部信濃守

松平河内守

藤堂大學頭

有馬玄蕃頭

松平大和守

寺沢志摩守

水野日向守

松平或邦大輔

松平和泉守

松平丹後守

松平和泉守

行幸、時鞍置馬相中覺

五足 尾張大納言

五足 紀伊大納言

三足 駿河大納言

三足 水戸中納言

十足 松平陸奥守

十足 松平筑前守

六足 松平伊豫守

六足 松平下野守

三足 松平宮内太輔

三足 藤堂和泉守

一足 井仔掃頭

一足 上杉厚心太尉

一足 仇竹右京太夫

一足 南部信濃守

五足 加藤肥後守

五足 松平右衛門佐

四足 淺野但馬守

六足 錫島信濃守

司馬

三足 嶋津薩摩守

三足 松平長門守

四足 細川越中守

四足 松平新太郎

自足 二足 堀尾山城守

二足 有馬玄蕃頭

松平阿波守

森美作守

加藤元馬助

松平土佐守

生助小法師

松平下総守

本多美作守

松平元厚守

自足 一足 松平河内守

三五 小笠原石垣太夫

本多甲斐守

伊達遠江守

水野日向守

寺沢志广守

真田伊豆守

松平中羽守

堀尾丹後守

一柳監物

徳永九馬助

岡部内膳正

九鬼長門守

京極岩狹守

京極丹後守

松平山城守

溝口伯耆守

戸田仇門

松平周防守

池田伎中守

加藤中羽守

古田兵部少輔

小中大和守

三花飛騨守

伊藤修理太夫

松浦伎後守

有馬元忠内佐

稻葉秀六

松平式部少輔

石川主殿氏

阿部伎中守

酒井廣岐守

井上主計頭

永井信徳守

司馬

安藤右京集

丹羽正行内

杉平丹后守

取野及行守

服坂淡路守

本多伊勢守

侍已上大名七十人 馬數百四十疋



翁草卷之九十八

國史文庫

